

# コア・タイムス

[The Center for Overall Research on Education]

発行所 加西市立総合教育センター  
加西市北条町古坂 1173-14  
TEL 0790-42-3723

## 加西市立総合教育センター ホームページ開設

総合教育センターでは、本市の教育の充実と振興、そして青少年の健全育成の推進に取り組んでいます。  
その取り組みをさらに充実させるために、ホームページを開設しました。

### ホームページの主な内容

- ①メイン(広報の掲示板等)
- ②総合案内(所長挨拶、組織、業務内容)
- ③研究研修(自主研究、教職員研修等)
- ④教育支援(適応教室、発達支援教室、教育相談室等)
- ⑤健全育成(補導委員、健全育成連絡協議会、ネット見守り隊等)
- ⑥利用案内(施設利用、施設案内)
- ⑦広報・行事(広報紙コア・タイムス、行事日程)
- ⑧図書コーナー(蔵書概要、利用案内)
- ⑨リンク(学校関係、教育機関等)
- ⑩アクセス(地図、アクセス方法)
- ⑪相談申込(インターネットでの相談申込等)

The Center for Overall Research on Education  
加西市立総合教育センター  
電話でのお問い合わせはTEL.0790-42-3723  
〒675-2303 加西市北条町古坂1173-14

新しい時代を切り拓く  
こころ豊かな人づくり

- 広報・行事
- 図書コーナー
- リンク
- アクセス
- 相談申込み

ホーム | 総合案内 | 研究研修 | 教育支援 | 健全育成 | 利用案内

「教育都市かさい」の実現をめざして  
加西市立総合教育センター(The Center for Overall Research on Education)は、平成23年4月に、これまでの教育研修所と青少年センターを統合して、新たに設立されました。通称として、CORE(コア)と呼びますが、これは、センターの英語名の頭文字を取ったもので、「核」「中心」ということを意味します。本センターが加西市の教育振興の核となるようにとの願いを込め命名されました。

INFORMATION お知らせ  
最新の情報を掲載いたします。

加西市立総合教育センター  
〒675-2303  
兵庫県加西市北条町古坂  
1173-14  
(代表) 0790-42-3723  
(相談) 0790-42-3730  
(FAX) 0790-42-4221

<http://kasai-core.net/>

ホームページ・サイトのアドレスは、左記のとおりです。ぜひご覧ください。

### ハイフン

## 未来への安全な町づくりへ

4月より新メンバー体制となり、残り数ヶ月で一年が過ぎようとしています。私たち北条小校区補導委員は、各地区代表者5人四班計20名で結成されています。毎週2〜5名で、人通りの多いイオンやコープから、人影が少ない夜の丸山公園やいこいの村など、十数か所を巡回しています。当初は、事件などに巻き込まれるのではな

いかと不安もありましたが、今のところ北条小校区ではありません。これも、十数年続いてきた補導委員活動の賜物だと思えます。補導委員活動は、現在の安全だけでなく、未来への安全な町づくりです。これからも歴代の補導委員さんに恥じないように、頑張っていきたいと思えます。そして北条の町、加西の町の安全な町づくりのバトンを引き継いで行きます。



写真 北条小校区補導委員

補導委員北条小校区

理事 高井 伸幸

# 発達支援プログラム

## 保護者カンファレンス（分科会）実施

子育てって楽しい反面、一人ひとりがちがう子どもの個性にとまどうなど、大変なものです。「こんな時どうしたらよいのだろう?」と思われることはありませんか。

子どもの発達についての理解を深めることを目的に、発達支援プログラム保護者カンファレンスを12月7日、総合教育センターで開催しました。

プログラムアドバイザーの北条東小学校教諭 西岡成人先生、子ども未来課主幹 後藤則子先生、特別支援学校コーディネーター高見裕子先生より子育てに関する専門的な話を聞きました。

【西岡成人先生】  
「子どもの成長は止まりません。必ず伸びます。個人差が大きいこの時期は、成長のための下地を作っているのです。『しかできない』ではなく『もできる』。結論を急がず、結論は子どもに言わせましょう。思考はポジティブに、そして発想の転換を」



写真：保護者カンファレンス全体会

【後藤則子先生】  
「子どもたちの一人一人の健やかな育ちを保証するためには、心身共に安定した状態にいることのできる環境と愛情豊かな大人の関わりが求められます」

【高見裕子先生】  
「繰り返し営まれる日々、生活の中で感じたり、考えたり、試したり・・・、将来を見通し子どもと過ごす環境を再構成しながら楽しんでいくことが大切だと

思います」

分科会では、保護者&プログラム指導者

(言語聴覚士・音楽療法士・特別支援教育士) セッションを行い『叱らない子育て法』について気づきや理解を深めました。



写真：分科会

幼少期における養育者の関わりが高校生の情動経験に及ぼす影響をテーマとした研究では、小さい頃、親の声を温かったと感じた体験は高校生活の喜びに、厳しかったと感じた体験は悲しみに、温かさがあまりなく厳しかったと感じた体験は怒りの情動に強い影響を及ぼしていることが明らかになっています。プログラムトレーニンングメンバー一同、子どもと過ごす今、この時を大切に温めていきたいと思っています。

【セッション2】  
《ほめ上手のテクニック》  
承認スキル  
「ほめる」とは、何かが出来た時にその行動を認める言葉。「承認」は、その「ほめる」も含めて、存在そのものを認めていくことです。

だから、子どもがすばらしい事をしなくても、いくらでも「承認」してあげます。例えば、「けんちゃん！おはよう！」とあいさつした時に名前を一緒に呼びます。さらにいいことしたときには「けんちゃん、ありがとう」とこちらも名前を先にいって「ありがとう」と言葉をかけます。人は自分の名前を呼ばれると、とても自分のことを大切にされていると感じます。



【セッション1】  
《叱り上手になる》  
「子どもに八つ当たりをしたのではないか。『叱ること』は自分がスッキリすることではない」と、自分を見つめる目をもつこと



【セッション2】  
《ほめ上手のテクニック》  
承認スキル  
「ほめる」とは、何かが出来た時にその行動を認める言葉。「承認」は、その「ほめる」も含めて、存在そのものを認めていくことです。

- 富合小学校保護立ち番。皆元気よく登校。あいさつもしっかりと声が出ていてよい。目が合うと照れくさそうに足早に行ってしまう子、顔を見てほほえんでくれる子、胸を張って旗を持つ班長さん。当番日は元気ももらう。
- 旧下里幼稚園から野条町。少しバラバラになつての下の様子でしたが、だいたいまとまりほのぼの下校風景でした。見守りの老人会の女性3人の方が温かな笑顔で見守ってくださっていました。
- 保護立ち番。いつものことながら道路いっぱい広がって自転車で帰宅していたので、注意する。「はい」と素直な返事が返ってくる。
- イオン加西北条ゲームコーナーで小学生数人、中学生4人子どもだけでゲームをしています。それぞれに「おうちの人は？」と声をかけましたが、返事がなかったのですが、「そろそろお家に帰ってね」と言っておきました。
- 九会小学校保護立ち番。372号線横断歩道。相変わらず交通量が多い中、子ども達は上手に横断歩道を渡ります。できるだけ多く、保護立ち番をしてあげたいと思います。